



# 西中学校通信 第13号

自主的に考え、正しく行動できる生徒 <自立と自律>

## 「ロバを連れた親子」

ロバを連れた父親と息子が道を歩いていた。  
その姿を見た女の子たちが言った。「バカみたい。どちらか一人がロバに乗ればいいのに。」  
それを聞いた父親は、息子をロバに乗せて歩き出した。

しばらく行くと、老人たちが集まっていた。  
その中の一人の老人が、ロバと親子を見て言った。「年を取った父親が歩いて、若い息子がロバに乗っているのはおかしい。」  
それを聞いた父親は、息子をロバからおろして、自分がロバに乗った。

しばらく行くと、子どもを連れた女たちの集団に出会った。  
その中の一人の女が言った。「子どもが疲れて歩いているのに、親がロバに乗っているのはおかしい。」  
それを聞いた父親は、息子もロバに乗せて、親子でロバに乗った。

しばらく行くと、若者の集団に出会った。  
その中の一人の若者が言った。「ロバに2人が乗るなんて。動物虐待だ。」  
それを聞いた父親は、ロバの後脚と前脚をロープで縛って、その間に棒を通して、父親と息子でロバを担いで歩いて行った。

その親子の姿を見た人々は、「人や荷物を運ぶためのロバを、人間が担いでいる。」と言って大笑いをした。

人は、その時々で意見を言います。その立場に立てば、その意見は正しい面があるかもしれませんが。しかし、立場が変わると意見も変わってきます。言い換えれば、人それぞれに立場や状況が違うのだから、意見が違ってくるのは、ある意味、当然のことだと思います。

意見を聴く側、意見を聴いて判断決定する側は、すべての意見を取り入れた判断決定をすることは不可能です。多くの意見に振り回されれば、「ロバを連れた親子」のように、結局、誰からも信頼を得られないということになりかねません。

大切なことは、自分で状況を把握し、考えに考えて、判断することだと思います。

生徒の皆さんの中にも、リーダーとして多くの人意見をまとめなくてはならない人がいると思います。また、人間関係の中で、自分の意見がなかなか言えないという人もいます。全員に好かれようとする、全員の意見を取り入れようとするにとらわれると苦しいだけかもしれません。

# 全国学力学習状況調査結果(3年生で実施)

正答率	国語	数学
全国	64.6	57.2
埼玉県	65.0	57.0
狭山市	64.0	57.0
<b>西中学校</b>	<b>62.0</b>	<b>57.0</b>

## 西中学校の特徴

### <国語>

- ・記述式の問題を苦手としている生徒が多い。
- ・漢字の読み等での正答率が高い。
- ・相手や場に応じた敬語を適切に使える生徒が多い。
- ・文章の内容を読み取る問題を苦手としている生徒が多い。
- ・文章を書く問題を苦手とする生徒が多い。

### <数学>

- ・加法減法の計算の正答率が高い。
- ・一元一次方程式をつくる問題の正答率が高い。
- ・図形問題の正答率が高い。
- ・関数を苦手としている生徒が多い。
- ・考察や数学的な説明を苦手としている生徒が多い。

## 西中生の活躍

### ○狭山市英語暗唱・弁論大会

3年生弁論の部	2位
3年生暗唱の部	3位
2年生暗唱の部	3位

### ○狭山市発明創意くふう展

優良賞	2年生	2名
-----	-----	----

### ○狭山市読書感想文コンクール

優良賞	1年生	2名
	3年生	2名

## 3年生の修学旅行を実施します。

延期をして11月1日～3日までの予定であった修学旅行を実施します。

予定通りに出発できるように今後、抗原検査を実施し、感染予防や健康観察等を徹底していきます。しかしながら、今後、3年生の学校関係者の陽性が確認され、複数への影響が及ぶ場合には、再延期または中止とします。

3年生は、昨年度の宿泊学習も中止となっているため、中学校生活の良き思い出となるように修学旅行を実現したいと考えています。